2011/4/15

西江大学短期語学研修プログラムに参加して

情報コミュニケーション学部　3 年 10 組 16 番　杉本　葵

１．はじめに

私は以前から韓国語、および韓国という国に興味があり、今回このプログラムに参加することを決めました。1 年間という長期留学をするには日本の大学生活を考えると少し勇気がいりますが、このように春休みを使った 1 ヶ月の短期語学留学というものは初めて留学をするには丁度いい機会だったと思っています。

２．西江大学の授業について

西江大学の授業は各所で言われているように「会話中心」の授業が展開されています。テキストを使った授業はもちろん、単語の確認の際にまで先生は「これはテストじゃないんだから友達とたくさん会話して、一緒に問題を解きましょう」「辞書を引くのはあとで、分からない単語があったらまずは友達に聞きましょう」と言います。とにかく西江大学の授業は会話、会話、会話の連続でした。そしてこれがすごく良かったと思っています。なぜかというと「聞く、書く、読む」が出来ている文法などもいざ「話す」となるとうまく出来ないのだということを体感することができたからです。今回のプログラムを通じて会話練習の重要性を心から知ることができました。そしてこのプログラム中に下手なりにも韓国語を使ってたくさん会話をしましたが、とてもいい経験だったと思います。同じクラスの人は外国人の方が大半でもちろん日常会話は韓国語で行います。会話が上手く出来なくてもどかしい思いをしながらもクラスメイトと楽しい毎日を過ごすことができました。同じクラスに日本人もいましたが、みんな韓国語の勉強に対する意欲が強く、日本人同士でも韓国語で会話をしました。(時々日本語で会話もしていましたが・・・)

テキストについても会話中心の西江大学らしさが出ていて、実際に使える表現がたくさん載っていました。(韓国の方が西江大学のテキストを見て言っていたので本当だと思います。)まさに「習ったらすぐに使える」という感じだと思います。

また、授業は全て韓国語で行われますが、先生が分かりやすく話してくれるので大丈夫です。本当に分からなくてどうしようもなくなってしまった場合も、日本語が堪能な先生が私たちのプログラムの担当をしてくれていたので、その方に相談することも出来ました。（直接大学に出向かなくとも、電話、メールでも相談にのってくれます。）

それとプログラムに参加した私たち一人一人に、言語交換(language exchange)という形で、日本語を勉強している韓国の方が一人ずつついてくれました。私には西江大学の 4 年生の学生がついてくれたのですが、韓国にいる間その方と一緒にお昼を食べながら韓国語で会話をしたり、韓国の文化についての話をするなど、とても有意義な時間を過ごすこと

ができました。日本に帰ってきた今でもメールでやり取りをしています。

３．文化体験について

このプログラムの間に 1 日だけ韓国の文化を体験する機会が設けられていました。引率してくださったのは私たちのプログラムを担当してくれた日本語の堪能な先生です。その先生と共に私たちが向かったのは韓国の伝統的な家屋(ハノク)が並ぶ場所でした。そこでは韓国の昔の遊びを体験したり、韓服を着て写真撮影をしたりしました。特に私は以前から韓服を着てみたいと思っていたので、今回着ることが出来て本当に嬉しかったです。韓屋の中で韓服を着て撮った写真はすごく良い思い出になりました。

４．日常生活について

今回の韓国短期留学において一番心配だったのが毎日の食事でした。ちゃんと 1 ヶ月やっていけるかどうか・・・。でも実際に行ってみるとどうにかなるものだなあというのが正直な感想です。特に私たちが滞在していた新村という場所は大学街なので、安い食堂もあれば、遊べる場所もあるし、買い物だって出来てしまいます。日本人の観光客もたくさん見かけました。なんといっても私たちが宿泊していたレジデンスの徒歩 1 分の場所に大型スーパーがあったので、食事はそこで買って、レジデンス内のキッチンで調理して食べるということも容易でした。

地下鉄の駅も韓国の主要駅にアクセス抜群の 2 号線が通っていたので、本当に便利でいい場所に泊まることが出来ていたなと思います。次回韓国旅行に行く際にも今回のプログラムで泊まっていたレジデンスに泊まりたいな・・・とさえ思うほどです。

５．今回のプログラムを通しての全体的な感想

正直、私は今回のプログラムに参加するかどうか、本当に悩みに悩みぬいて参加を決めました。それは 1 ヶ月もの間親元を離れて生活したことがなかった、ということもありますが、好きな国とはいえ、海外で 1 ヶ月もの間きちんと生活することが私に出来るのだろうか、という不安がとても大きかったからです。「私には敷居が高いのではないか」とかなり悩みました。

でも今こうして留学を終えてみて、「なんであの時の私はあんなに悩んでいたんだろう、もしあのまま行かなかったら私はどうなっていたんだろう」と本気で思っています。それくらいに私が韓国で生活した 1 ヶ月というのは自分の人生を変えたといっても過言ではないほどに大きなものとなりました。「海外で暮らすという経験が出来た」というのももちろんですが、一緒にプログラムに参加していた明治の学生、韓国で出会った友達など、本当にたくさんの人と出会うことが出来たこと、そして 1 ヶ月間韓国語に向き合えたこと、旅行で韓国に行っただけでは決して知ることができなかったであろう大好きな国韓国を知ることができたこと。本当に本当にこのプログラムを通してたくさんのものを自分の中に吸

収することが出来たと心から思っています。そしてぜひこのような経験を他の方にも味わって頂きたいです。

この１ヶ月は私が今まで生きてきた中で一番充実していた１ヶ月間でした。

最後になりましたが、今回このような機会を下さったことを心から感謝しています。本当に有難うございました。是非このプログラムを今後も続けてほしいと思います。

<table>
<tr>
<td> </td>
<td>
</td>
</tr>
<tr>
<td> </td>
<td> </td>
</tr>
</table>